

建材 マンズリー

No.704

6

JUNE
2024

特集

“木材保護塗料” の今に迫る

好木心

来訪者を圧倒する大スケールのCLT建築
「吉備高原 Nスクエア」

注目企業を訪ねる

有限会社 渡辺酒造店



“木材保護塗料”の今に迫る

カーボンニュートラルに向けて、住宅はもちろん中大規模建築物でも木材利用が活発化している。

2021年に“木材利用促進法”が改正され、その対象が一般の建築物にまで拡大したことで、

中大規模建築物の木造・木質化はますます加速していくだろう。

そのような中、内装木質化はもちろんのこと外装木質化も期待される。

一方で、自然素材であるがゆえに外装木質化には課題もあり、

品質の均一性や経年劣化など、扱いが難しい点もある。

これらを補うために進んでいる技術開発の一つが「木材保護塗料」だ。

今号では、知っておきたい木材保護塗料の基本と、注目の木材保護塗料を紹介する。



木材劣化抑制のポイントとは 紫外線暴露と雨水侵入の防止

木材保護塗料は屋外で使用される木材を保護するための塗料であり、劣化を防止し、美観を保護するために用いられてきました。古来、木材を建材として使用してきた日本では、四季があり高温多湿の気候に合わせ、工夫を凝らし、木材表面にベンガラや松煙などを塗布したり、木材表面を焼いたりして建材としての木材を保護してきました。

1971年にはドイツ製の木材保護塗料が輸入され、国内でも耐候性の高い造膜形塗料や、環境に配慮した低臭性、水性、天然物系など、様々な木材保護塗料が登場しました。

2006年11月に改定された日本建築学会発行の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS18 塗装工事」

では、屋外使用を目的として「木材保護塗料塗り」が新設され、木材保護塗料は①屋外における木質系素材の半透明塗装仕上げを目的とする②塗膜を形成する「造膜形」、塗膜を形成しない「浸透形(含浸形)」がある③成分として樹脂、着色顔料のほか、防霉・防カビ・防虫効果を有する薬剤を含むことなどが明文



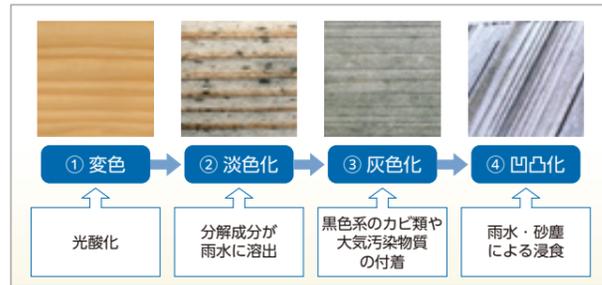
日本大学 生物資源科学部 森林学科
バイオマス資源化学研究室
教授

木口 実氏

屋外で使用される木材の劣化要因には紫外線・雨風・汚染物質などによる「気象劣化」と菌類・虫などによる「生物劣化」がありますが、木材表面の変化は主に気象劣化によるものです。木材の主要成分であるリグニンは紫外線に弱く、何もしなければ半年程度で分解されます。紫外線により分解した木材成分は水に溶けやすくなり、淡色化や黒カビ類の繁殖により灰色化が進みます。さらに表面が雨水や砂塵等によって浸食され、洗濯板のような凹凸も起こります(図1)。

つまり、木材の美観保護のためには、表面の紫外線劣化を防ぎ、水の侵入を防ぐことが重要です。庇や軒等で遮光したり風雨を防いだりするだけではなく、木材保護塗料の利用が不可欠というわけです。ただし、気象劣化の中で強く作用する紫外線は木材の表面から1mm程度しか入らないため、劣化は表面にとどまり、

図1. 気象劣化に伴う木材の変化



断面が大きい木材では構造上の強度低下等は生じません。

耐候性を求めるなら 造膜形×着色系

木材保護塗料の耐候性は、造膜形(薄造膜形)浸透形(含浸形)、着色系(濃色)薄造膜形(薄造膜形)浸透形(含浸形)が最も耐候性が高いのは造膜形×着色系(濃色)となります(図2)。近年では屋外でも透明系の塗料で木目や色調を長く持たせたいというニーズが高まっています。しかしながら、透明系では紫外線を遮蔽できないので短期間で劣化が発生します。また、造膜形は耐

候性が高いものの、塗り直す際には塗膜を剥がす手間がかかります。一方で浸透形(含浸形)は耐候性は低くなりますが、そのまま塗り直しできるという特徴もあります。

塗料の保護効果は、塗布量や基材によっても変わるので注意が必要です。木材表面の顔料や防腐剤等の有効成分量が多いほど保護効果が高

くなるため、塗料の塗布量は多い方が効果的です。また、紫外線を遮蔽する隠蔽力が高いほど保護効果が高くなるため、浸透形の濃色タイプなら十分な塗布量を確保することで屋外でも5年程度の保護効果を期待できます。一方、同じ塗料でも塗布量が十分でない1年半程度で劣化してしまうことになりかねません。塗布量の確保には、基材の含水率を20%以下程度に乾燥しておくことが望ましく、密度の低い樹種の方が塗料の浸透量が多くなる傾向があります。また表面の状態は、平滑面よりも粗面の方が表面積が多いので、塗布量を増やせるという利点があります。海外ではあえて粗面仕上げにするケースもあるほどです。

経過や場所によって 塗料を変える工夫も

日本では、屋外で使用される木材も樹種特有の茶色系の色調が好まれますが、これは日本独特の特徴だと思えます。欧米では、屋外で使う木材は灰色化している方が自然と捉えられ、茶色の色調は人工的でフェイクとさえ考えられています。背景には、戦後の日本では外構にあまり木材を

使用せず、用いる場合もペンキと呼ばれた塗料で着色してきたことがあります。屋外の木材は経年で暗灰色に変化しますが、日本ではこのような変化を知らない方も多いのではないのでしょうか。

建築物への木材利用が活発化し、木材保護塗料の重要性はますます高まっています。質感や色を残しながらいかに表面劣化を抑えるかが今後の鍵となってきますが、耐候性を高めるには造膜形×濃色が最も有効であるため、経過に伴い塗料を変えるという工夫が必要です。例えば、初めは浸透形×薄造膜形×濃色の木目質感を楽しむ、3年程度で塗り替えが必要になったら浸透形×濃色でメンテナンスする。木材の色は経年で変化するので、着色することで変化も感じにくくなります。最終的にはメンテナンスが10年程度不要な造膜形に変えるといった方法が考えられます。

中大規模建築物に関しては、人の目に触れる低層には木目が見える浸透形、高層には高耐候性を持つ造膜形と使い分ける方法もあります。浸透形は造膜形より頻繁なメンテナンスが必要ですが、低層であれば高層よりもメンテナンスは容易です。ま

図2. 木材保護塗料の種類と耐候性



木材向けシリケート塗料 「カイクム・リグノシル・ヴェラノ」

株式会社エコ・トランスファア・ジャパン

約150年の歴史を持ち、高耐候性を備えた天然鉱物由来の「シリケート塗料」。木材向けのシリケート塗料「カイクム・リグノシル・ヴェラノ」は、塗装したその日から時を重ねてグレイイング(灰色化)したかのような趣ある外観を作り上げる。

天然鉱物の優れた特性で 長期間外装を守る

エコ・トランスファア・ジャパンは、持続可能な未来に向けて、住宅性能を向上させる建材製品や建築技術をドイツから日本に紹介・販売するため、2007年に設立した会社です。塗料としては、主にドイツのカイクムファルベン社が19世紀後半に

開発した「シリケート塗料」の輸入販売を行っています。シリケート塗料はコンクリートやモルタル、しっくいなどの塗装に使われてきました。当社によって世界初の木材用が開発されました。「カイクム・リグノシル・ヴェラノ」はその一つで、2017年に日本での販売を開始しています。シリケート塗料は約150年の歴史を持ち、世界で多くの建造物に採用されています。自然原料なのでシックハウス症候群などを引き起こすVOC(揮発性有機化合物)を含まず、嫌な臭いもありません。火災が起きてても有毒ガスが出ない人体にも環境にも無害な塗料です。同社のシリケート塗料は、環

施工事例



ギムナジウム(学校) / アウグスブルク、ドイツ
塗装から7年半経過(リグノシル・ヴェラノ 4861)

不均一なグレイイングが始まっていた
ウッドサイディングに塗装した場合



塗装前

塗装後

史を持ち、世界で多くの建造物に採用されています。自然原料なのでシックハウス症候群などを引き起こすVOC(揮発性有機化合物)を含まず、嫌な臭いもありません。火災が起きてても有毒ガスが出ない人体にも環境にも無害な塗料です。同社のシリケート塗料は、環

木口用止水塗料 「もくぬぐる」木口シール剤(SZ102)

— 玄々化学工業株式会社

2021年から発売を開始している「もくぬぐる」木口シール剤(SZ102)は、木材表面に防水性の高い膜を作り、水の侵入を防ぐ水性・造膜形の木口用止水塗料だ。割れや剥がれが起きにくく、カビの発生などの劣化も防ぐ。

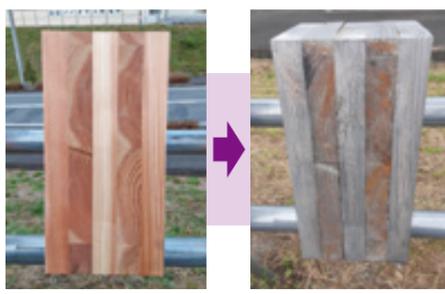
きつかけは

CLT木口の割れ止め開発

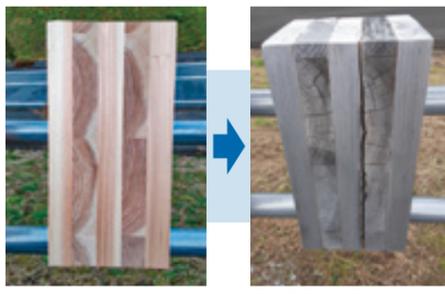
開発のきつかけは、「CLTの木口が割れないようにするための塗料が欲しい」というCLTメーカーからのオファーでした。木材は調湿機能を持つため、水分の放出量が多いと収縮し割れが生じることがあります。CLTは端部に水分を吸収しやすい木口面が多くあるため割れが生じるリスクがありました。そこで、

水分の出入りを抑制する止水塗料の開発に着手したのです。開発に当たって難しかったのは、止水と耐水のバランスです。木は伸縮性があるので、塗膜の柔軟性が弱いと破れ、逆に柔らか過ぎても水に弱くなります。防水性がなくては止水効果が持続しないので、バランスを見極め塗料成分の調整を行いました。また、CLTはひき板(フミナ)が直交に積層されているため密度が一定ではなく、場所により塗料を吸い込む量が異なります。このバラつきを考慮しながら、塗料の粘度や塗布量を変えるなどドライ&エラーを繰り返して商品化を実現しました。こうして完成した「もくぬぐる」木口シール剤(SZ102)は柔軟な塗膜で木材への追従性が

「もくぬぐる」塗装と未塗装の比較 (CLT)



屋外暴露10カ月後



屋外暴露10カ月後

高くと、剥がれにくい塗料です。一般的な止水塗料と比較して2〜3倍の防水性を有し、水性のため臭いもありません。依頼していただいたCLTメーカーからも好評を頂きました。発売開始から2年でおよそ6万㎡分を販売しており、木口用という限定された用途にもかかわらずニーズの高さを感じています。原液をそのままはけやローラーで塗布するだけの使い勝手の良さから、集成材やLVLでも利用されており、中大規模建築物はもちろん、造形物やエクステリアなど木質材料に幅広く活用されています。また、木質材料は基材の状態によって塗装効果が変わり、比重が大きい0.4程度、心材のより密な基材部分は、より少ない塗布量で塗料本来の性能を発揮できます。

木質系材料の用途を広げる 様々な塗料開発に注力

「もくぬぐる」は止水塗料だけでなく、木材表面の汚れを防止する防汚塗料「もくぬぐる」CLT・集成材用

境に関するグローバルな指標である「Cradle to cradle」*の認証を取得しており、まさにエコな塗料です。主原料は鉱物由来の水ガラス(ケイ酸カリウム)で紫外線に強い特性から高耐候性を発揮します。また、pH11という強アルカリ性のため、カビや苔などが付着するのを防ぎます。さらに、塗料が基材に浸透して石化するため剥がれにくく、塗膜を作らないので木の質感を生かすことも可能です。塗料に含まれる顔料も天然鉱物から作られているため紫外線に強く、色の安定性が高いという特性もあります。そのため、塗った時の美しい色が長期間持続するのです。

木材の美しいグレイイングを 竣工時から実現

これらシリケート塗料の優れた特性を生かし、グレイイングという視点で開発されたのが「カイクム・リグノシル・ヴェラノ」です。木材は紫外線や雨・風にさらされると、時間の経過とともに脱色したようなシルバークレーになっていきます。木材ならではの趣があり魅力的ですが、日当たりや降雨量によって劣化スピード



代表取締役CEO
ノルベルト・パウマン氏

が異なるため、グレイイングは不均一になります。しかしこの塗料を使用すれば、塗布したその日から何十年も経過したかのような風合いのシルバークレーを均一に表現できるのです。木材の質感を生かしたマットな仕上がりは、時が経つにつれてさらに自然なものになっていきます。高耐候性など優れた特性があるため、外壁のウッドサイディングなどに適していますが、内装木材にも使用できます。色はグレイ系の薄い色から暗い色、メタリック系まで全14色を備え、木目を生かした半透明な色付けなど様々なグレイイングの色彩を表現することが可能です。メンテナンスは10年ごとで済むため補修塗装の回数が少なく、費用対効果が高い塗料でもあります。

今後は住宅や老人ホーム・保育園などに拡販していきたいと考えています。これからの建築は建築材料の原料にもより二層配慮が必要です。良い材料・良い技術で建てる建築にぜひこの塗料を使ってほしいと思います。



取締役 技術部長
大木 博成氏

高く、剥がれにくい塗料です。一般的な止水塗料と比較して2〜3倍の防水性を有し、水性のため臭いもありません。依頼していただいたCLTメーカーからも好評を頂きました。発売開始から2年でおよそ6万㎡分を販売しており、木口用という限定された用途にもかかわらずニーズの高さを感じています。原液をそのままはけやローラーで塗布するだけの使い勝手の良さから、集成材やLVLでも利用されており、中大規模建築物はもちろん、造形物やエクステリアなど木質材料に幅広く活用されています。また、木質材料は基材の状態によって塗装効果が変わり、比重が大きい0.4程度、心材のより密な基材部分は、より少ない塗布量で塗料本来の性能を発揮できます。



技術部 研究事業担当
主任研究員
伊藤 拓美氏

シール剤(TZ106)も展開しています。CLTという大きな材料は、運搬条件によっては汚れが付く点も課題でした。2025年に開催される大阪・関西万博では世界最大級の木造建築物となる予定の「大屋根リング」にも採用されています。今後もシリーズを増やしていく予定で、セルロースナノファイバーを配合した耐候性塗料、防霉・防蟻塗料、準不燃塗料などの発売を視野に入れています。止水塗料+耐候性塗料など塗料を組み合わせて木質材料に求められる機能をクリアできれば、木質材料の用途はより一層広がるでしょう。

近年、木目など木質感を見せるため透明系塗料のニーズが高まっています。また中大規模建築物では工場塗装や耐候・耐久性の向上も求められます。透明性と耐候・耐久性の両立は課題ですが、まずは耐候・耐久性の向上を目標に、木質系材料の用途を広げる塗料の開発に努めています。

* [Cradle to cradle (ゆりかごからゆりかごへ)]: 原材料調達から、製造、廃棄に至るまでを評価するグローバルな環境認証。ドイツのEPEA(ドイツ環境保護促進機関)が認証を行っている

中大規模向け高性能木材保護塗料

「S-100」

— 住友林業株式会社

中大規模建築物の木造・木質化の流れの中、木の風合いを生かしたデザインにしたいという要望が増えてきた。半透明の水性シリコンゴム系塗料「S-100」は、木目を生かしながら長期間劣化から守り、作業性向上も実現した中大規模建築物のニーズに応える塗料だ。

木目を残せるシリコン塗料で 雨と紫外線による劣化を抑制

大規模物件の外装に木が使われるようになり、「木材が劣化しない耐候性があるって、木目を生かせる塗料はないのか」という声が建築業界から上がりました。これまで中大規模建築向けを想定した木材保護塗料はあまりなく、その要望に応えるため2015年に高性能の木材保護塗料の開発に着手しました。

2018年1月に商品化した「S-

「S-100」塗装後の木材



半透明のため、カラーがあるものでも木目が見える

施工事例



2023年竣工「フォレストハウス」

「SUSTIMBER-軒天」



ホウ酸亜鉛が含まれており、紫外線劣化を抑制します。

この紫外線吸収剤は透明度が高く、顔料濃度もできるだけ抑えているため、耐候性を確保しながら本来の木目を生かすことができるようになりました。

施工の効率化にもつながる 中大規模向けの新しい塗料

大きな特長としては工場塗装に対応していることです。木材保護塗料は現場塗装が一般的ですが、大規模物件での現場塗装は作業期間が膨大になります。そこでプレカット工場などで塗装することを前提に、低臭性や速乾性など工場塗装に合った作業性を実現しました。また、塗装回数を増やして表面を厚くすることでメンテナンスサイクルを長くすることも可能です。

その他にも、塗装面はスケートリンク並みの潤滑性により木材を滑るように差し込むことができ、現場の作業時間の短縮にもつながります。蜘蛛の巣もタバコのヤニも付かないので、付着物による汚れを抑制する防汚性も兼ね備えています。

隈研吾氏が手掛けた新国立競技場に納入されたことをきっかけに、「S-100」を使用した物件はここ数年



木材建材事業本部 事業開発部
R&Dグループ マネージャー

門田 賢一

で急速に増えていきます。中大規模建築物で高い箇所に木質材料を取り付ける場合には、劣化により落下すると危険です。割れ止め塗料や防蟻・防蟻処理と組み合わせることによって、性能を高め、安心安全に使っていただけるようにしていきたいです。また「S-100」を塗装した木材の製品化も進めており、外装化粧部材として、小幅板を連続して張った「SUSTIMBER-軒天」と格子状にした「SUSTIMBER-格子」を開発しました。パネル状になっているため、これらを取り付けるだけで木の温もりある外装を実現できます。

木材の魅力的な活用方法はいろいろあると思います。例えば、鉄骨造の軒天に木材を配置するなど、大量ではなく部分的に木材を活用することでデザイン性の向上につながるでしょう。今後も「S-100」を通して木材を効果的に活用し、建物の価値向上に貢献していきたいです。

来訪者を圧倒する 大スケールのCLT建築 「吉備高原Nスクエア」



岡 山県の中央に位置する吉備中央町。豊かな自然に囲まれたこの地は、強固な地盤とアクセスの良さから移住先やワーケーション候補地として近年注目を集めている。

2024年4月、この地にダイナミックで斬新なデザインの木造建築物が誕生した。「吉備高原Nスクエア」と名付けられたこの施設は、岡山市に本社を置くシステム開発会社「システムズナカシマ」が地域貢献の一環として建設した交流スペースだ。1階は誰でも自由に利用できるカフェとリーススペース、2階は会員制のコワーキングスペースとレンタルオフィスとなっている。

まず目を引かれるのは、巨大な板を積み上げたアート作品のような外観だ。この巨大な板の本体は、岡山県産檜を使ったCLT。現在生産できる最長サイズを組み合わせ、巾2.2m、長さ35m、厚み21cmとして積み上げている。また角度をつけて積み重ね、そのズレた箇所を開口部をとることで、大迫力の壁を生かす工夫がされている。

デザイン監修は隈研吾建築都市設計事務所が担当した。設計に当たっては、岡山県が日本一のCLT産地であることから、CLTを主役にした新しいデザインが検討され、構造から内装まで全面的にCLTを使用。特にCLTの角度を変えて積み重ねるのは初めての試みで、現場では特殊な納まりの検討や、何度も墨出しをして設置位置を確認するなど施工業者の協力もあつて完成に至った。CLTはコンクリートにも匹敵する高い強度を実現できるため今後の建築材料として期待されており、同事務所でも採用してきたがこれだけダイナミックな使い方は初めてだという。

館内にはギャラリーなどが設けられ、仕事の合間に気軽にアーツに触れることができる。週末にはアートイベントやワークショップが開かれ、人と人との出会いの場にもなっている。CLT建築に新たな可能性を見いだしたこの場所が、イノベーションを起こす象徴となることを期待せずにはいられない。

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

「蔵まつりは従業員総出で準備するため労力はかかりますが、消費者と直接触れ合う機会となり、酒造りのモチベーションアップにつながっています。またある時、見学に訪れた観光客が新聞紙に包んで蔵の片隅に置いておいたコンテスト出品用の酒を見つけ、売ってほしいと懇願されました。旅先で見つけた秘蔵感のある日

—— 日本酒をもっと楽しんでもらうために、2007年から蔵まつりを開催している。振る舞い酒はもちろん、地元グルメの屋台やお笑い芸人のライブステージなどもあり、現在ではおよそ1万人が集まる一大イベントとなっている。

ユニークな取り組みと商品で、日本酒に“体験”という価値を付加

「日本酒には、飲む体験に付随する「コト」が大切であると気づかされました。本来の日本酒は生活に密着したものであり、人生の充実のために日本酒を楽しんでもらいたい。そんな思いから、日本酒を飲むという体験すべてをエンターテインメントにする「エンタメ化経営」をスタートしました」

けでなく、「亡き母と飲んだ『蓬莱』がおいしかった」「久しぶりに帰省する我が子と飲めるのが楽しみ」など数多くの「思い」が記されていたという。

日本酒をもっと楽しく！ 「エンタメ化経営」で“体験”を提供し V字回復を果たした老舗蔵元



代表取締役社長
渡邊 久憲 氏

本社 ● 岐阜県飛騨市古川町 志之町7-7
創業 ● 1870年
資本金 ● 3,000万円
従業員 ● 54名
事業内容 ● 清酒製造・販売

消費者の求める酒造りという視点で生まれた「エンタメ化経営」

—— 世界の日本酒コンテストで数々の受賞歴を誇る岐阜県飛騨市の渡辺酒造。主力銘柄である「蓬莱」を中心に、日本酒業界で唯一無二の存在感を放つ創業150年を超える老舗の蔵元だ。指揮を執る9代目当主は「エンタメ化経営」なる独自の経営方針を掲げ、異端ともいえるその取り組みで飛躍を続けている。

「各地の蔵元で修業を積んでいた私は家業を継ぐため1998年に飛騨に戻りました。良いものを造れば売れる」という思いの下、原料となる米や精米歩合を見直し高品質の酒造りに取り組みました。ところが、酒販店へ売り込みに行っても価格の話ばかり

有限会社 渡辺酒造店

ここが注目ポイント

蔵元が造りたい酒ではなく
消費者が求める酒造りへ改革

ユニークな商品とPR手法で
日本酒に“体験”を付加

デジタル化で品質向上と
働き方改革を実現



伝統と手造りを重視した日本酒で数々の賞を受賞。新聞紙で包むなどユニークな演出やネーミングの商品も多数ある



2007年から開催している蔵まつり。子どもが楽しめる縁日イベントなども用意し、5年ぶりの開催となった2024年は2日間で約9,000人が訪れた



貯蔵タンクに“ありがとう”などの言葉を書くと結晶がきれいになり、おいしい酒が出来上がる。蔵見学、蔵まつりに訪れた人に直筆で書いてもらう



酒造りのDX化を進め、こうじ、もろみの温度管理を自動化。2022年には酒造り担当の男性社員が初めて育休を取得した

りで思うように売れない。さらに2003年に酒類販売業免許が自由化され、地元商圏に量販店が参入しました。売り上げは1999年の4億円から2年後には2億円と、瞬く間に半減し経営危機に陥りました

—— 根本からの変革を模索する中、消費者のニーズを見失っていると気づく。日本酒は高度経済成長期に大量生産・低価格が進み、その反動による高級化、造り手のこだわりを詰め込んだ芸術化と、時代によって変化してきた。しかし、これらは蔵元が造りたい酒であり消費者に求められている酒なのかと疑問に感じていた。両者の間に溝があるなら、その溝を埋める必要がある。ここから同社の挑戦が始まった。

「まずは消費者の生の声に耳を傾けてニーズを探りたいと考えました。しかし、日本酒の販売は卸や酒店などの流通経路をたどるため、消費者と蔵元との間に接点がありません。そこで注目したのが、飛騨を訪れる多くの観光客です。地域の名所などをまとめた観光マップとともに当社を紹介したチラシを手作りして配るところから始めました。酒蔵見学に立ち寄ってくれた観光客にアンケートを依頼し、酒造りのヒントになる貴重な声を少しずつ集めました」

—— アンケートには味の好みについて日本酒に心がくすぐられるのだと気づき、のちに新聞紙で巻いた「蔵元の隠し酒」という商品を生り出したところ大ヒットしました。この出来事をきっかけに、驚きと愉快さを感じてもらいながら当社らしさを表現したいと考え、「非売品の酒」「色おとこ」などユニークな名前のラインアップをそろえました」

—— 品質向上はもちろんのこと、エンタメ化経営により、経営危機からV字回復を果たし、現在の売り上げは12億円に成長している。また、コロナ禍ではオンライン展示会を実施し、遠方の顧客との接点を構築した。SNSの運用などデジタル化を進める好機となり、海外への販路拡大にもつながっている。

「製造工程にもデジタル化を取り入れ、杜氏による勤と経験が頼りだったもろみの温度管理など見える化しました。ブレのないおいしさを実現できるとともに、作業量の軽減から休暇が取りやすくなるなど、働き方改革にもつながりました。エンタメ化で日本酒を楽しんでくれた消費者はリピーターとなり、リピーターがファンになって当社を応援してくれています。今後ファンを拡大し、飛騨市の関係人口を増やしていきたい。日本酒を通じて地域経済を豊かにするのが、この地で育てられてきた当社の役割だと思っています」

「令和5年住宅・土地統計調査」の住宅数概数集計（速報集計）を公表 — 総務省統計局

2023年10月に実施された「住宅・土地統計調査」の速報として、全国および都道府県別の総住宅数や空き家数など「住宅数概数集計」が4月30日に公表された。これは調査結果の早期提供が目的で、確定値は今年9月ごろに公表される予定。「住宅・土地統計調査」は、全国の住宅と世帯の居住状況、保有する土地等の実態を把握する統計調査で、5年ごとに実施される。住宅数、空き家数、建物の構造や建て方、建築時期などの調査結果は、住生活基本計画や土地利用計画等施策の基礎資料として利用されている。

■ 総住宅数は6,502万戸で過去最多

2023年10月1日現在における総住宅数は6,502万戸と、これまで一貫して増加が続いており、2018年比4.2%（261万戸）増で過去最多となっている。都道府県別では東京都が820万戸と最も多く、次いで大阪府（493万戸）、神奈川県（477万戸）となっている。

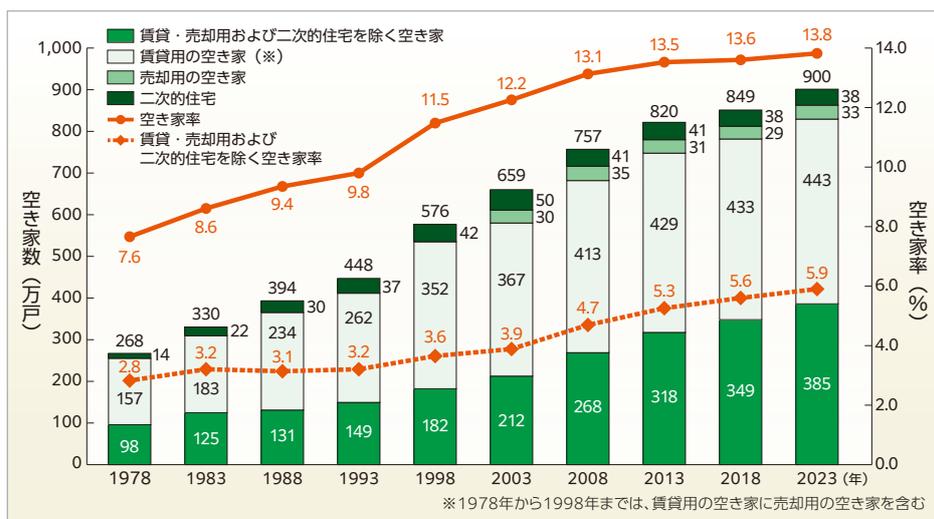
■ 空き家は900万戸で過去最多

空き家は900万戸と、2018年と比べ51万戸の増加で過去最多。空き家の数は増加が続いており、1993年から2023年までの30年間で約2倍となっている。総住宅数に

占める空き家の割合である「空き家率」も13.8%と過去最高となり、都道府県別では和歌山県と徳島県が21.2%と最も高い結果となった。また空き家数のうち「賃貸・売却用および二次的住宅を除く空き家」*は385万戸と総住宅数に占める割合は5.9%で、西日本で高い傾向となっている。

*「賃貸・売却用および二次的住宅を除く空き家」：転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など

● 空き家数および空き家率の推移—全国



「木」でつくる事業用建築ブランド「The Forest Barque (ザ・フォレストバーク)」発売 — 住友林業株式会社

住友林業では5月から、木造の事業用建築ブランド「The Forest Barque (ザ・フォレストバーク)」の展開を開始した。設計のシステム化にも対応した独自のビッグフレーム構法を採用し、耐震性に優れ、自由度の高い設計が可能。事務所や診療所、店舗向けに、構造躯体を現しにするなど木質感あふれた質の高い室内空間を提案していく。

政府は2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、事務所ビル・商業施設など「業務部門」に分類される建物のCO₂排出量削減目標を設定しており、こうした流れを受けて事業用建築の木造化・木質化が加速している。高断熱仕様でZEB（ネット・

ゼロ・エネルギー・ビル）に対応する木造の事業用建築は、脱炭素社会の実現に貢献すると期待されている。

■ 「ザ・フォレストバーク」の特徴

- (1) 木の構造を生かした木質感あふれる空間提案
- (2) 高い耐震性と自由な設計を両立
- (3) 「構造躯体」「防水」は安心の30年保証
- (4) 高断熱仕様でZEBに対応



診療所のイメージ



事務所のイメージ



開放感のある室内空間

編集室より

■ 弊社ホームページにPDF版を掲載中です。

住友林業 建材マンスリー

検索



某雑貨店でココロギパウダー入りのおせんべいを発見しました。早速インターネットでレビューを確認したところ、エビのような香ばしい風味で思いのほかおいしいというコメントが。環境負荷が少なく栄養価が高いことから昆虫食が注目されていますが、いざ商品を目にしてみると、手に取る勇気が湧かず……アメリカ人の知り合いが「納豆」を見た時の顔が思わず浮かんで、「おいしいのにチャレンジしないのはもったいない」と思った自分を思い出しました。(E)

表紙：住友林業（株）住宅事業本部 熊本支店 西熊本展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

■ 送付先の変更、広告掲載・誌面に対するご意見などは以下までご連絡ください。

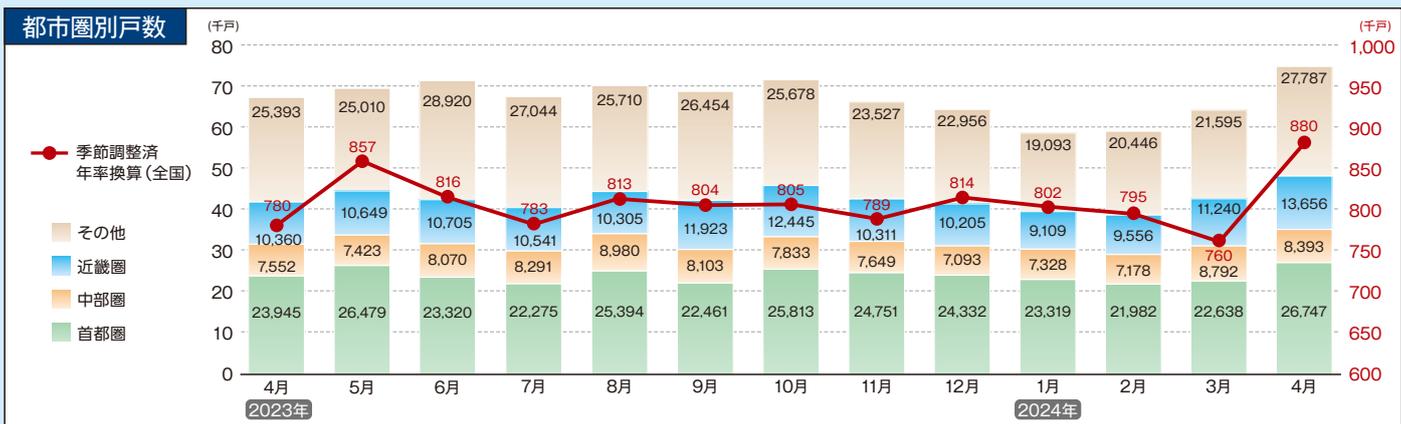
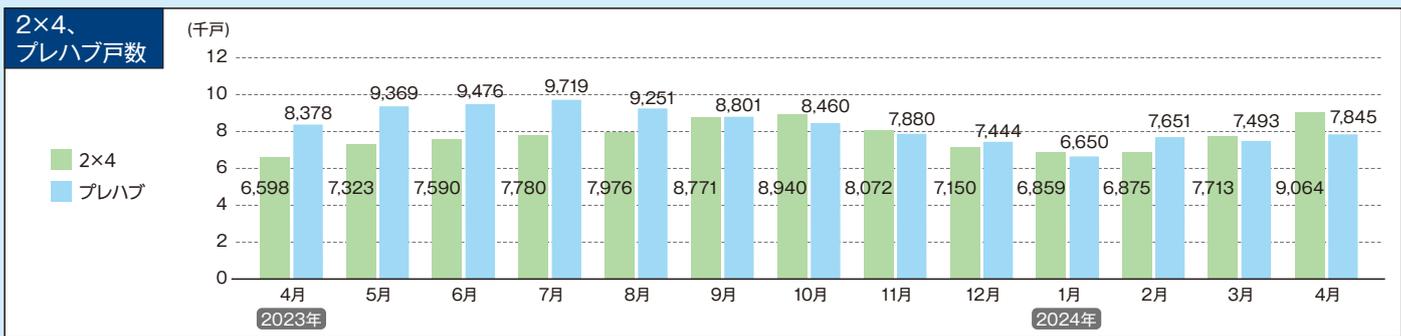
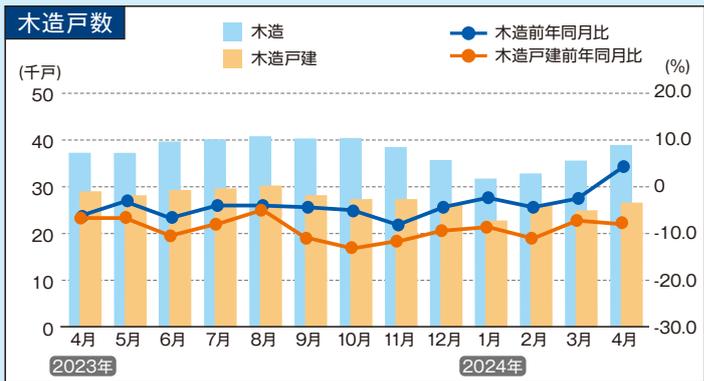
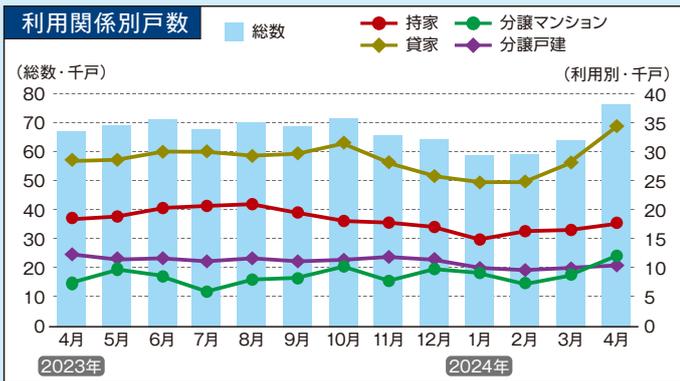
メールアドレス：kenzai-monthly@sfc.co.jp

FAX：03-3214-3269

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

2024年4月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		4月					3月	2月	1月
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		76,583	9,333	13.9%	288	0.4%	64,265	59,162	58,849
建築主別	公共	984	▲ 763	▲ 43.7%	▲ 18	▲ 1.8%	953	547	395
	民間	75,599	10,096	15.4%	306	0.4%	63,312	58,615	58,454
利用関係別	持家	17,878	▲ 719	▲ 3.9%	▲ 3,162	▲ 15.0%	16,637	16,307	14,805
	貸家	34,598	5,913	20.6%	5,072	17.2%	28,204	24,934	24,681
	給与住宅	1,152	885	331.5%	630	120.7%	235	594	324
	分譲住宅	22,955	3,254	16.5%	▲ 2,252	▲ 8.9%	19,189	17,327	19,039
	うちマンション うち戸建	12,226 10,579	4,993 ▲ 1,783	69.0% ▲ 14.4%	▲ 459 ▲ 1,877	▲ 3.6% ▲ 15.1%	8,977 10,113	7,483 9,710	9,020 9,867
資金別	民間資金	70,712	9,919	16.3%	318	0.5%	58,930	54,711	54,264
	公的資金	5,871	▲ 586	▲ 9.1%	▲ 30	▲ 0.5%	5,335	4,451	4,585
	公営住宅	976	▲ 753	▲ 43.6%	176	22.0%	936	490	337
	住宅金融機構融資住宅	1,910	▲ 229	▲ 10.7%	▲ 692	▲ 26.6%	1,910	1,552	1,529
	都市再生機構建設住宅 その他住宅	0 2,985	0 396	— 15.3%	0 486	— 19.4%	0 2,489	0 2,409	0 2,719
構造別	木造	38,809	1,632	4.4%	▲ 872	▲ 2.2%	35,606	32,929	31,754
	非木造	37,774	7,701	25.6%	1,160	3.2%	28,659	26,233	27,095
	鉄骨鉄筋コンクリート造	529	96	22.2%	358	209.4%	275	151	211
	鉄筋コンクリート造	27,728	7,643	38.1%	1,682	6.5%	20,070	18,038	19,397
	鉄骨造	9,459	▲ 24	▲ 0.3%	▲ 854	▲ 8.3%	8,257	7,994	7,445
	コンクリートブロック造 その他	35 23	▲ 5 ▲ 9	▲ 12.5% ▲ 28.1%	▲ 5 ▲ 21	▲ 12.5% ▲ 47.7%	32 25	30 20	26 16



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

\\ 仕上げてる棚板はいかがですか? //

WOOD ONE

“仕上げてる”が
スゴいYO!!!!



【仕上げてる棚板】

施工比較動画公開中だYO!!!



株式会社 ウッドワン

お客様商品
相談窓口

0120-813-331

[受付時間] 平日: 8:30 ~ 17:00 [休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏季休業